

福 (株)T plus creation 寄附贈呈 ももの酢、売上金の一部を寄附

桑折町の応援団として、町産桃を使ったフルーツピネガー「福ももの酢」を製造・販売する(株)T plus creationが9月25日、地域振興に役立ててほしいと売上金の一部(5万円)を町に寄附しました。町出身でもある代表の鶴町伸子さんは「上京してから、桑折町のあたたかさや居心地の良さを思い知った。大切なふるさとのために、少しでもお手伝いのできたらうれしい」と話しました。高橋町長は「町も桃を使った六次化産品の開発に力を入れていきたい。今後もふるさと桑折を応援していただきたい」とお礼を述べました。



▲「ふるさと桑折の地域振興に役立ててほしい」と話す鶴町さん(写真左)



▲「きれいになった公園で、のんびりと気持ち良く過ごしてほしい」と話す会員の皆さん

地 シルバー人材センターボランティア活動 地域貢献のため、町をきれいに

町シルバー人材センターによるボランティア活動が10月15日、蚕糸公園と桑折駅前団地集会所周辺で行われました。この日は、会員約20人が約1時間かけて敷地内の除草を実施。駅前団地の歩道や公園の駐車場など、手分けして隅々まで除草し、公園、集会所ともに見晴らしが良く、きれいになりました。センターでは、60歳以上の会員がさまざまな仕事の依頼を受けて元気に就業しています。随時会員も募集していますので、興味のある人は気軽にご連絡ください(桑折町字西段10 ☎582-3194)。

県 県北森林組合寄附贈呈 産木材を使った足踏み式消毒台を寄贈

県北森林組合が10月16日、新型コロナウイルス感染防止に役立ててほしいと、県産木材で制作した足踏み式消毒台を町に寄附しました。菅野厚代表理事組合長が「県産木材のPRとともに、コロナ対策の一助として、お役に立てたらうれしい」と話しました。高橋町長は「木材の温かみがあって、地元木材をふんだんに使った新庁舎の雰囲気にもぴったり。新庁舎でもぜひ有効活用させていただきたい」とお礼を述べました。



▲「県産木材のPRとコロナ対策のために」と消毒台を贈る菅野代表理事組合長(写真左)



▲「家族みんなで減塩に取り組みましょう」と「食育の日」をPRする食改さん

食 「減塩の日」「食育の日」普及活動 改さんが「減塩」をPR

毎月17日の「減塩の日」、毎月19日の「食育の日」に合わせて、町食生活改善推進委員会による普及活動が10月19日、町内3か所のスーパーで行われました。町食生活改善推進委員会(通称「食改さん」)が、スーパーの利用者に、減塩のおすすめレシピと「塩分注意」のロゴがあしらわれたウェットティッシュを配布。「桑折町は血圧の高い人が多いので、みんなで気を付けましょう」などと呼びかけました。受け取った人は「レシピを参考に減塩に努めたい」などと話していました。

運 醸芳幼稚園運動遊び参観 運動遊びって楽しいね!

新型コロナウイルスの感染拡大で中止となった醸芳幼稚園運動会の代わりに、運動遊び参観が10月6日、7日、9日に園庭で開かれました。感染予防対策として、年少・年中・年長組と日程を分け、参加者の人数制限や3密の回避、マスクの着用、手指の消毒などを実施。参加者は大きな声で応援しない代わりに、手を振ったり、拍手を送ったり、温かく園児を見守りました。子どもたちは、ダンスやかけっこ、クラス対抗リレーなど、どの種目においても、楽しみながら元気いっぱい体を動かしました。



▲棒をくぐったり、板を渡ったり、巧技台をジャンプしたり、数々の障害物にチャレンジ



▲校庭を力いっぱい駆け抜け、会場を盛りあげました(写真は半田醸芳小のリレー)

ア 各小学校運動会 アイデア出し合い、多彩な競技

新型コロナウイルスの影響で5月から順延となっていた各小学校の運動会が、「スポーツ集会」や「スポーツフェスティバル」として学校ごとに形を変えて、9月23日を皮切りに実施されました。新しい生活様式に沿いながら、ソーシャルディスタンスを保つために徒競走の1回あたりの人数を減らしたり、競技に使う道具を消毒したり、各校で工夫を凝らして行いました。対策を講じ、いつもとは少し違った形でも、子どもたちの元気な姿と笑顔がありました。

今 醸中祭 年のテーマは「一陽来復」

醸芳中学校の文化祭「醸中祭」が10月17日に開かれました。午前中の合唱コンクールでは、新型コロナウイルス感染予防対策のため、生徒同士の距離をとりながら実施。少し歌いづらい状況ではありながらも、クラス全員心をひとつに素晴らしい歌声を響かせました。今年は、1年2組、2年3組、3年1組が金賞を受賞しました。午後は、総合学習の発表や有志の生徒によるステージ発表がありました。お馴染みの曲に合わせたダンス披露や生徒会が企画した大抽選会などで、会場は大いに盛り上がりました。



▲休み時間や放課後に積み重ねてきた練習の成果を発揮し、安定したハーモニーを披露



▲笑顔で表彰台に登る亀岡選手(一番左)の今後の活躍に期待です

亀 高等学校新人陸上競技選手権大会 岡選手、東北大会優勝

第25回東北高等学校新人陸上競技選手権大会が10月2日、岩手県北上総合運動公園北上陸上競技場で行われ、町出身の亀岡花凜選手(学法石川高校2年)が女子2000m障害の部で優勝しました。亀岡選手は、中学生のころから桑折町駅伝チームで練習を積み、昨年のふくしま駅伝では、町の選手として初めて「町の部区間賞」を受賞し、チームの「町の部入賞」に大きく貢献しました。今年の駅伝は1区を走る予定で、「走れることに感謝して、全国高校駅伝の都大路につながる走りをしたい」と意気込みました。